

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 6月 1日 更新

事務事業名		放課後学童保育事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	中嶋 万喜
	施策	18	子どもを見守り、育てる地域づくり			所属課	子育て支援課	担当者名	榮 峰男
	基本事業	58	子育てと仕事の両立支援			所属班	子ども保育班	(内線)	2353
予算科目		会計一般	款 3	項 2	目 4	事業連番 10582	法令根拠	合志市放課後児童対策事業実施要綱	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
								成果優先度評価結果	③
								コスト削減優先度評価結果	①

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ、今後の状況変化を含む)	ふれあい館において、各小学校区の学童クラブでは預りが困難な夜8時までの児童の預かりを行う。学童クラブがなかった西合志第一小学校校区の児童の放課後児童対策として、社協への委託による学童クラブが始まった。当初、西合志第一小学校の低学年児童及び他の学童クラブでは保育が困難な児童を受け入れているが、放課後の児童安全対策の面から、また夜間の預かり等の要望も多くなっており、定員の都合上受け入れができない状況となっていたため、第一小学校校区の児童については立割老人憩の家を活用し実施することとした。しかしながら、定員的にも送迎距離的にも西合志校区での受入しかできていないため、平成21年11月からJA南ヶ丘支所跡地を活用した夜8時までの預かりを行う学童クラブを実施した。
【業務の流れ】	①放課後児童対策事業計画打合せ、検討 報告書・請求書受付、審査 ⑦支出命令書 ②事業施行伺い ③委託契約伺い ④委託契約締結 ⑤支出負担行為 ⑥実績報告書
【主な予算費目】	委託料
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	利用者からは、当該事業が夜8時までの受け入れを行っているため、定員数を増やしてほしい、旧合志町校区内でも受け入れて欲しい等の要望がでている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
小学校低学年の児童の放課後の預りを合志市社協へ委託により実施した。ふれあい館キッズクラブ及び平成21年11月からJA南ヶ丘支所跡地を活用して、南ヶ丘福祉支援センターひかりにて、夜8時までの預かりを実施する学童クラブを設置した。	小学校低学年の児童の放課後の預りを合志市社協へ委託により実施する。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) (単位)	予算の主な増減の理由
→ ふれあい館学童保育の登録児童数 人	登録児童数の減に伴う国基準額による減額。
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
小学校低学年の児童	→ 小学校1~3年までの児童数 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
・仕事と子育ての両立ができる。 ・児童の健全育成ができる。	→ 学童保育の延べ利用児童数 人
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠 事業量を図るため延べ利用数とした。また、目標値については、概ね定員があるため頭打ちとなると考えられるため5人増で設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア	人	52	0	65	65	70	75	0
	イ								
	エ								
② 対象指標	ア	人	1,808	0	2,150	1,903	2,300	2,450	0
	イ								
③ 成果指標	ア	人	10,413	11,095	10,400	13,801	11,200	12,000	0
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円	2,991		4,413	4,810	4,111	4,413
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
	(A) 事業費計	一般財源	千円	1,801		3,206	2,809	3,056	3,206
		(A) 事業費計	千円	4,792	0	7,619	7,619	7,167	7,619
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特別	千円	0	0	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	420	0	437	659	453	453
人件費	正規職員従事人数	人	4	0	3	4	3	3	
延べ業務時間	時間	105	0	110	160	110	110		
トータルコスト(A)+(B)	千円	5,212	0	8,056	8,278	7,620	8,072		

総トータルコスト  
全体計画  
~ 年度

(期間限定複数年度のみ記載)

事務事業名	放課後学童保育事業	所属部	健康福祉部	所属課	子育て支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE) \*原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 概ね目標を達成することができた。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 合志南小校区、南ヶ丘小校区では児童数が増えているため目標は達成すると考えられる。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 本事業は社会福祉協議会に委託しており、午後8時までの預かりを行っているため保護者の勤務形態の多様化でニーズも多い。そこで、これまで、旧西合志校区内での対応しかできていないものを、旧合志校区の受け入れができるよう新たな施設の確保しており、今のところ向上の余地はない。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 上記事業だけでは全児童を受け入れできないのに加え、夜8時までの受け入れを行っていないため、他に類似事業はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 国が規定する事業であり、今後国は小学校毎に設置目標を設定しているため事業の削減は出来ない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 現在が最低事務量であり、国の動向によってはますます事務量が増える可能性もある。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 本事業の対象は小学校3年生以下の児童でかつ放課後の時間帯に就労等の理由で家に保護者がいない児童と決まっているため、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 国が規定する事業であるため、役割分担は適正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

平成21年度については、旧合志で実施できていなかった夜8時までの預かりを実施する学童クラブを、JA南ヶ丘支所跡地を活用して実施することが出来た。(南ヶ丘福祉支援センター輝き館ひかり)

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					